

## 活動紹介

### スーパーエコタウン見学と地盤環境研修会

#### (1) 開催概要

- ・ 研修名：スーパーエコタウン見学と地盤環境研修会
- ・ 開催日：令和元年 10 月 9 日
- ・ 参加人数：11 名

#### (2) 研修内容

スーパーエコタウンとは、首都圏における廃棄物問題の解決と環境産業の立地を促進し循環型社会への変革を目的として、東京都が国の都市再生プロジェクトの一環として整備し平成 29 年 6 月に完成した施設です。本研修では大田区城南島に整備された 2 施設（S.P.E.C 株式会社様，高俊興業株式会社様）と中央防波堤内側埋立地の 1 施設（J & T 環境株式会社 東京臨海工コクリーン様）を見学しました。

前者では、環境調査で我々が触れる機会が多い「埋設廃棄物・汚染土壌」や「建設混合廃棄物」の中間処理（受け入れ～再生資源）の工程について、後者では、「産業廃棄物・感染性医療廃棄物」を焼却処分する設備を見学することで、焼却副産物（スラグや金属など）の再利用，排熱を利用した発電技術（サーマルリサイクル），有害排出物（ダイオキシン類など）の環境対策に関する仕組み技術を学びました。



J & T 環境（株）様による感染性医療廃棄物  
焼却処分施設の解説



高俊興業（株）様による建設混合廃棄物  
再資源施設の解説

施設見学会終了後、会議室に場所を移して1時間程度の講習会を行いました。「令和元年台風15号」から1箇月経過するも、なかなか進まない災害廃棄物処理の報道を目の当たりにしたことから、講習内容を「東京湾岸エリアを取り巻く環境変化」から「災害廃棄物対策について」に急遽変更してタイムリーな話題提供に努めました。

その後に発生した「令和元年台風19号」がもたらした暴風雨および豪雨による災害（激甚災害指定）では、71河川140箇所で堤防が決壊し多くの尊い命が失われたことは、地質調査に携わる我々技術者の記憶に新しいものです。



技術委員による災害廃棄物対策についての講習会風景

**災害廃棄物対策について**  
～東日本大震災を上回る規模の自然災害に備えて～

2019年10月9日  
一般社団法人 東京都地質調査業協会  
一般社団法人 東京都地質調査業協会

**令和元年台風15号に係る被害状況**

台風15号  
千葉市付近に上陸

千葉県  
363,000戸  
19,000戸以上  
18,000戸以上

**令和元年台風15号に係る被害状況**

- 気象概要
  - 三浦半島付近を通過、東京湾を進み、強い勢力で千葉市付近に上陸
  - 千葉市で最大風速 35.9m/s、最大瞬間風速 57.5m/sを観測
- 建物被害、送電被害（千葉県、神奈川県）

項目	千葉県	神奈川県
全壊	1	0
半壊	1	0
倒壊	0	0
被害総数	2	0

【千葉県】  
送電線：2本倒壊  
電柱：34本倒壊  
電柱損傷：約2000本  
停電：約36万3300戸  
(9/10 13時49分時点)

**水害・地震で発生した災害廃棄物処理量**

- 熊本地震 (H28.4)
  - 約 289万<sup>3</sup> (平成29年6月時点)
- 東日本大震災 (H7.1)
  - 災害廃棄物 (津波堆積物を除く)
    - 約2,000万<sup>3</sup> (13道県239市町村)
  - 津波堆積物
    - 約1,100万<sup>3</sup> (6県36市町村)
- 阪神・淡路大震災 (H7.1)
  - 約1,450万<sup>3</sup> (約3年で処理)

出典：国土交通省資源部/災害廃棄物対策プラットフォーム/水害等の災害/災害対策マップ、環境省/「災害廃棄物対策」サイト、災害廃棄物処理のイメージ

■災害廃棄物対策講習会資料（抜粋）